

# 令和2年度の主な取り組み

市がめざす将来の都市像「個性輝く世界都市」「希望あふれる人間都市」の  
実現に向けてテーマを掲げ、取り組みました。ここでは主なものを紹介します。

## 長崎×若者プロジェクト

### ■「長崎×若者」推進費

101万3千円

15～34歳の若者が実現したいアイデアや企画を出し合い、チャレンジできる場として「ながさき若者会議」を立ち上げ、そこから生まれた若者のチャレンジを披露するオンライン発表会を開催しました。



ながさき若者会議

## こども元気プロジェクト

### ■児童福祉施設整備事業費 全天候型子ども遊戯施設

7,030万2千円

子どもたちが、豊かな自然の中で思いっきり遊びながら成長できるように「あぐりの丘」に全天候型子ども遊戯施設を整備するにあたり、施設の実施設設計などを行い、街のエリアにある既存建物の一部の解体工事に着手しました。



全天候型子ども遊戯施設

## 新型コロナウイルスに関して感染症対策や各種支援を実施しました

●新型コロナウイルス感染症対策費(6億4,490万5千円)  
PCR検査などの実施体制を整えるとともに、陽性者へ適切な医療を提供するための対策に関する事業を実施しました。

●特別定額給付金給付事業費(415億8,266万6千円)  
家計への支援のため、申請があった世帯構成員1人につき10万円を支給しました。

●子育て世帯及びひとり親世帯への臨時給付金  
(13億6,298万円)

子育て世帯やひとり親世帯、妊産婦を支援するため、児童手当や児童扶養手当の受給世帯など、また、令和2年4月28日以降に生まれた子どもを対象に、給付金を支給しました。

●営業時間短縮要請協力金(19億2,308万4千円)  
長崎県の要請に応じて、営業時間の短縮に協力した飲食店などを対象に協力金を支給しました。

●事業持続化支援金(18億1,837万4千円)  
経営が悪化している市内事業者の経営維持を図るため支援金を支給しました。

●中小事業者等一時金(2億4,039万4千円)  
長崎市の緊急事態宣言に伴う飲食店の時短営業や不要不急の外出・移動の自粛の影響を受けた市内事業者の経営維持を図るため、一時金を支給しました。

●プレミアム商品券発行事業費(3億8,017万3千円)  
市内経済を活性化するため、プレミアム付商品券を発行する団体に対し補助しました。

●お得に泊まって長崎市応援キャンペーン事業費  
(2億4,886万9千円)

県民を対象に市内の宿泊施設等で使用できるお得なクーポン券を発行することで市内の宿泊事業者や飲食業者、土産物業者などを支援しました。

## 住みよかプロジェクト

### ■住みよかプロジェクト推進費 156万8千円

長崎総合科学大学で建築を学ぶ学生と協力して、大学の近くにある市営住宅の空き部屋を若者向けに改修する実験を行いました。大学生が改修した部屋に実際に入居し、若い世代に好まれる住まいとはどんなものか、大学生が地域の活動に参加することで地域との関係がどの様に変わっていくのかの2つを検証しました。

## 投資事業

### ■小学校整備事業費 仁田佐古小校舎等建設 1億5,778万7千円 (平成27年度～令和2年度) 総事業費25億8,950万6千円

佐古小学校と仁田小学校の統合校である仁田佐古小学校は、令和2年2月に新校舎が供用開始され、令和3年3月には運動場などが完成しました。これをもって学校建設に係る事業がすべて完了し、教育環境の改善が図られました。

### ■消防機器整備事業費 総合消防情報システム更新 5億6,128万2千円 (平成30年度～令和2年度) 総事業費9億4,711万8千円

平成19年から運用を続けていた総合消防情報システムを更新しました。最新の情報通信技術を導入し迅速な災害対応と効果的な部隊運用が実現できることで、これまで以上に市民の安全・安心な暮らしをサポートする体制が確保されました。

## その他

### ■教育ICTの推進 学習者用コンピュータ整備費 12億359万8千円 情報通信ネットワーク環境整備 (小・中・高) 6億4,908万3千円

国が進める「GIGAスクール構想」を実現するため、市立小中学校の児童・生徒に1人1台のタブレット型PCと高速・大容量の無線ネットワークを整備しました。

## 新産業の種を育てる プロジェクト

### ■新産業・起業チャレンジ促進費 410万3千円

地場企業と県外企業をマッチングし、さまざまなアイデアやノウハウを取り込むことで、新規事業創出を図る「オープンイノベーションの推進」、また、新たなビジネスモデルを活用して新規事業創出を図るため「スタートアップ支援」に取り組んでいます。取り組み内容の詳細については、10・11ページに掲載しています。

## まちをつなげるプロジェクト

### ■地域公共交通検討調査費 679万5千円

交通事業者より貸与を受けたICカードデータから、現況の利用者数や収支状況の分析、将来予測を行いました。この成果は、公共交通の計画策定や路線再編のための基礎データとして活用していきます。

## まち MICE プロジェクト

### ■DMO推進費 MICE推進費1億6,451万2千円

今年11月に開業した出島メッセ長崎をはじめ、MICEで長崎を訪れた人たちをまちの中に呼び込み、滞在時間と消費の拡大を図り、地域活性化につなげるため、歴史的建造物などを用いた懇親会場としての活用や周遊・滞在を楽しめる体験メニューの拡充等を行いました。(うち、まちMICE事業1,871万円)



歴史的建造物などを用いた懇親会